



継承はチカラなり

どうも、AUN です。

このレポートでは、既に聴いていただいているであろう、[大きな後悔や失敗に苛まれた時は](#)という音声コンテンツについての、さらに掘り下げた話をしていきたいと思います。

なぜ、さらに掘り下げた話をしていくのかと言うと、あの音声を公開してから思い思いの沢山のメッセージを頂いたのですが、それらを見ていて、「ああ、これはちゃんと道を示しておかないといとイケない問題だな」と思ったからです。

音声でも話しているように、誰でも、現実世界で生きている限り、大なり小なり、死ぬまで後悔や失敗を生み出し続けるわけです。このレポートが、あなたの生きる一つの指針になれば幸いです。

【目次】

1. 継承はチカラなり
2. チカラがないのはあんたのせい
3. 「志」では食っていけないのか？

1. 継承はチカラなり

まず、一つ考えてみて欲しいのですが、多くの人の場合、自らが生み落とした後悔や失敗たちといかにして向き合い、折り合いをつけているでしょう

か？

答えは、「NO」です。折り合いどころか、特に向き合う事すらないままに、人間が持つ「忘れる」という便利な機能によって（僕の場合は便利すぎて困っているのですが・苦笑）、時間が自然と解決してくれているわけです。「回避」と言った方が正しいかな。いや「消滅」の方が正しいかも。

いずれにせよ、本当はね、

解決もしていなければ、回避もできていなければ、消滅もしていない

のです。

例えば、親孝行しないままに親はあの世に逝ってしまった、と。それなりに後悔した。それなりに反省もした。だけど、それに対して、特に向き合わないまま時間だけが過ぎていき、段々と何も感じなくなってしまった。たまに過去の事を思い出して、懐かしんだり、温かくなったり、切なくなったり、心がチクッと痛んだりする程度。ケースは様々ですが、こういうのって少なくないと思います。

「本当は、解決もしていなければ、回避もできていなければ、消滅もしていない」ということを言いました。これは、“残り続ける”ということです。中学校の入学式の日、お袋に寂しい思いをさせてしまった時の記憶は残り続けるのです（これを聞いてピンと来ない人は、もう一度ちゃんと音声を聴いてくださいね）。

音声で語った話の中で、

「一生忘れられないような後悔や失敗。これらは、残り続けるからこそ、次の大切な人たちに伝えられるのではないか。」

というフレーズがありました。

ボクらは、自らが生み落してしまった後悔や失敗から“ナニカ”を学び取る必要があります。そしてそれを、大切な人に引き継ぐ使命を持っていると思います。

それを出来るだけ彼らがわかり易いように、受け取りやすいように、生かせるようにして。

それが「向き合う」ということだと思ふし、一番「楽になる方法」だとも思ふんですね。だから僕は、後悔や失敗は「そのためのキッカケとして」残り続けるんだと思ふんです。そう思いたいのです。じゃないと、哀しいじゃないですか。

そして、

「一方でボクらは、後悔や失敗をしないような努力も全力でしなければならぬ。」

とも言いました。

「引き継げるのは後悔や失敗だけではないのだから」

と。

「成功体験」ももちろん、次の大切な人に継承できる、継承すべき素材です。チャレンジした上で、出来るだけ精一杯、後悔や失敗をしないように頑張る。成功体験を積む努力をする。その前提があつての後悔や失敗だからこそ、痛みから大切なことを学ぶことができるし、それは誰かの糧にもなるんですね。

大事なこと言いますよ。

後悔や失敗は、隠したり、忘れようとしたりするのではなく、

“継承してなんぼ”

です。

成功体験は、自慢したり独り占めしたりするのではなく、“継承してなんぼ”なのです。継承すべき人間が多くなればなるほど、あなたの“影響力”は大きくなっていくし、それはつまり生きている“ステージ”が上がる、ということの意味しているわけです。

まあ、だからビジネスをやったらいいんじゃないんですか、できればリスクがなく拡大力のある“インターネットを使ったコンテンツビジネス”にチャレンジすることをお勧めしますよ、ということをもう何年も前から言い続けているんですけどね。

とにかく、後悔や失敗を隠すのも忘れるのも感じ悪いし、成功体験を自慢するのも感じ悪い。感じ悪いっていうか、失礼ですよ。自分や他人に対してもそうだし、生かしてもらっているという現実に対しても。だから、ちゃんと継承してほしいんです。いるでしょう、大切な人。

そもそもチャレンジしない・・・なんてのは論外だと僕は言いたいし、後悔

や失敗をしない努力もせず、アグラかいてヘラヘラしながら横着こいて、ヨダレ垂らしながら、半裸状態で、「この経験をお、俺は誰かにい、継承するんだあ！」とか言ってる奴は論外中の論外ですが、とにかく。

継続はチカラなり、ならぬ

継承はチカラなり

というわけです。

2. チカラがないのはあなたのせい

「後悔や失敗をしない努力はしなければいけない」と言っています。

これを肝に銘じておいてほしいのですが、

その努力をするにも“チカラ”が要る

ってことです。

あなたが生み落してしまう後悔や失敗の質が、あなたが今立っているステージです。成功体験の質も、あなたのステージのバロメーターです。それを素直に、真摯に、受け止めないといけません。自分は、この後悔や失敗をしてしまうステージにいるんだ、と。

知識がなかったために、
実力がなかったために、
環境をコントロールできなかったために、
感情をコントロールできなかったために、

そんな後悔や失敗をしなければいけなかったんです。

人から騙された。裏切られた。
・・・知識が足りなかったんです。

行きたい大学に行けなかった。
就きたい仕事に就けなかった。
・・・実力が足りなかったんです。

時間がないことを理由に親孝行しなかった。
・・・環境をコントロールするチカラがなかったんです。

大切な人に酷いことを言ってしまった。
大切な人に大切な想いを伝えられなかった。
・・・感情をコントロールする力がなかったんです。

いいですか？

この事実から目を背けてはいけないと思います。

知識、実力、経済的自由、時間的自由

これらは紛れもなく“チカラ”です。このチカラの中のいずれか、もしくはいくつかさえ十分にあれば、あの時の後悔や失敗はなかったかもしれない。それは成功体験になっていたかもしれない。

僕が中学生の入学式の後、母親に残念な思いをさせてしまったのは、チカラがなかったからです。ワンちゃんにあんな哀しい死に方をさせてしまって自分自身が傷ついたのもチカラがなかったからだし、婆ちゃんからもらった愛情に不義理してしまって自分が嫌になったのもチカラがなかったからです。

もっと言うと、昔好きだった女性があの時他の男を選んだのも、今の嫁さんを昔うつ病にってしまったのも、尊敬していた人に酷い不信感を抱いてしまったのも、元々脚の悪ったお袋が、お金が無かったせいで体を酷使し続けて今、両脚の主要関節すべてが人工関節になって杖をつけて歩いているのも、昔から見た目だけはカッコ良かった親父が今、禿げてしまって哀しい思いをしているのも（笑）、すべては僕にチカラがなかったからです。

僕の“せい”なんですね。成功体験にできず、後悔や失敗にってしまった、チカラがなかった僕のせいです。あなたが何かしらの後悔や失敗をしてしまうのは、あなたの“せい”です。

誤解してほしくないのですが、それが「罪」だとは言っていません。それが「悪い」とは言っていません。“せい”というのは「責任」という意味です。

チカラがないことは、別に「悪い」ことでも「罪」なことでも ないけれど、責任はある

ということです。

「罪が無い」＝「責任が無い」ではないということです。ここを一緒くたにするからわけがわからなくなるのです。「私は100%悪くないのだから、これは私の責任じゃないよ」と言う人がいるのですが、違うでしょ、と。まあ確かに悪くはないかもしれないけど、責任はあなたにあるんじゃないんですか、と。

全部自分の責任なのです。だって、あなたは「誰を」生きてるんですか？
「自分を」生きてるんじゃないんですか？

「YES」だと思います。だったら、現状チカラがないのは、自分の責任なのだということを受け入れたほうがいいです。その方が結果的に、楽になれます。自由になれます。この話を受け入れて生活してみてください。1年後、その意味を噛み締めているはずですから。

【追加補足】

こういうメールを貰ったので、回答と併せて補足に代えたいと思います。

「昔から見た目だけはカッコ良かった親父が今、禿げてしまって哀しい思いをしているのも（笑）」は、AUNさんのチカラではどうにもならないんじゃないか？…と、半分冗談だと分かってはいるのですが、真面目に考えだしたら深みにハマってしまいました（苦笑）

「中学生の頃、お母さんに悲しい思いをさせてしまったのは、恥ずかしいという気持ちをコントロールするチカラが無かった。」

「犬がフィラリアで死んでしまったのは、当時知識が足りなかった。」
とかは AUNさんのチカラでどうこう出来る問題だと思うのですが、親父さんの禿に関しては、完全に親父さん本人の問題（責任）じゃないでしょうか？

何処かの時点で自分のチカラでどうこう出来る問題と、そうでない問題の境界線みたいなのを引いておかないと、キリがないんじゃないか？と感じたのですが…。

冗談にマジツッコミして申し訳ありませんでした（苦笑）

これは半分冗談っぽく書いてましたが、別に冗談ではありません。親父は「ええかっこしい」なので、禿げに関しては凄まじい危機感と恐怖心を持っていたはずです（笑）。そして、そんな親父を見て僕は、可哀想だと密かに思っていました。

そして、当時の僕は知っていました。金さえあれば、禿げは回避できる、ということ。方法は、ここでは関係ないので割愛しますが（笑）、僕のチカラ次第で、回避できていた問題だったのです。

例えば、天候などはコントロールできないので自分の問題としてどうしようとは思いません（し、できません）が、例えば、「雨が降ったせいでテーマパークを十分に楽しめなかった」とか、「雨が降ったせいで商談のチャンスを逃した」とか、そういうのは自分の問題だと思います。

株価や為替自体、外からはコントロールしようがないのでアレですが、例えば、そこに首をツッコんで損をしてしまったなら、确实のその人の責任です。天災もコントロールできません。

でも、環境をコントロールするチカラのようなものを持っていれば、より安全な地域に住み移る、という選択肢が広がるはず（それが正しいのかどうなのかはケースバイケースですが）。

親父が禿げるのは宿命（だったはず）なので、そこは僕の問題ではないし、親父には是非、禿げた事は自分の責任だと思ってもらいたいわけですが（笑）、実際問題、その時の僕に経済力があれば、親父は禿げずに済んだわけだし、そんな親父をみて哀しい気持ちになってしまうこともなかったわけなので。そういう意味で「自分の問題」だという意識はあります。

で、結局、これはステージの問題だと思います。多くの人に対して影響力を持ってくると、許容できる責任や問題意識の範囲が自然に拡大していきます。と言うか、物事に対する捉え方が“成熟”してくるので、自分で責任感を持ったり問題意識を持ったりすることによって促される自分自身の成長や進化がある、という事に、なんとなく気づいているのではないかとも思

います。

これは、きっと僕だけではないはずです。これはいろんなところで言っていますが、ステージが低い（影響力が小さい）時というのは、こういう話をきくと「重い」とか「自分にはそんな責任背負えない」とかそんな風に思ってしまうものですが、僕や、僕が尊敬する人間たちは、それを「重い」なんて思わないですから。むしろ、「楽」になるために、そういう道を選択しているのです。これも「ステージが高い」ということになりますね。

自分本位（主人公マインド）に生きてれば、必ずそういう思考パターンになりますよ。

以上補足でした。

3. 「志」では食っていけないのか？

唐突なテーマですが、これって結構興味深いテーマだと思うんですよ。このテーマももちろん、今回の話とつながっているので興味深く読み進めて欲しいと思います。

「志や大義を持ちなさい」と成功者がよく言っている一方で、「志や大義では食っていけない」こう言う経営者も多いですね。どっちや、と。

あなたは、志で食っていると思う派ですか？それとも、志では食っていけないと思う派ですか？それとも、白黒つけられない問題なのだから、い

い塩梅でやっていくしかない、と思う派ですか？

例えば、営業の現場や作業現場の経験、あるいは起業家の道を選んだ人ならわかると思いますが、最初のうちは、かなり泥臭く、時に反吐が出そうな事をしなければなりません。相手を欺いてしまう事もあれば、手を抜かざるを得ない事もあれば、大切な何かを犠牲にしなければならない事もあります。

正直、志や思いや大義だけでは食っていきません。そういうものが疎ましくすら思ってしまうような局面もあります。これが真実です。でも、今から大事な話をするので、絶対に読むのをやめないでくださいね。

「志や思いや大義だけでは食っていけない」と言いました。でも、それは、「志や思いや大義だけで食っていけない」ことが真実なのではなく、

“「志や思いや大義だけで食っていけない」ステージにいる”

のが真実、という話なんですよ。

何でもいいのですが、目標とするに相応しい何かがあって、そして、それを達成することを目指してスタートを切ることができたとします。ポジティブな思いがあつてのことだと思えます。ビジネスでもチャリティでも趣味のサークルでも何でもいいですよ。しかし、最初の段階では、チカラが不足している状態なのです。

いくらポジティブな思いがあつても、それ“だけ”を生かして結果を出せるだけのチカラを持っていない

のです。

例えば、それを仕事にしたのだとしたら、「食っていけない」ということになるわけです。だから、食っていくために、ポジティブ以外のエネルギーを使わなければならない。それが、さっき僕が「泥臭い」と表現していたようなものになってくる。

僕は、最終的には、

志で食っていけるようになる

と信じています。

そのためには、チカラを持つ必要があると思います。ボクらは、チカラを持たなければなりません。大切な人を守るために、自分の人生に責任を持つために、生きたい自分の人生を生きるために、チカラを持たなければいけないと思います。

泥臭い時期を精一杯乗り越えた先には、

“志で、生きたい自分の人生を生きる”

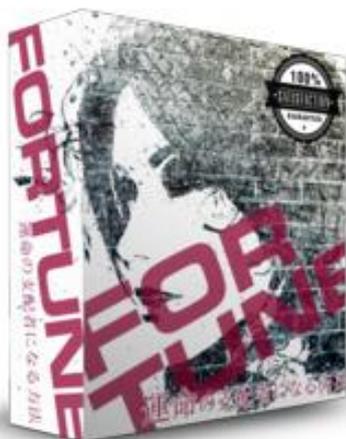
このステージが待っている、ということを知ってほしい。

この話は、まだ多くの人を実感を伴わないものであることはわかっているのだけど、そういう素晴らしいステージがあるんだ、ということを入れておいてほしいのです。

では、最後まで読んで頂きありがとうございました。

Arigato!★Aun

★このレポートを読まれたあなたにお勧めの製品



FORTUNE—運命の支配者になる方法—

自分に都合よく運命をコントロールし、望み通りの理想や成功を獲得することを可能とする4つの奇跡の資質……

1. 他人の能力を最短・催促でパクる資質
2. 思考。妄想を忠実に現実化する資質
3. 結果が出るまで行動を継続する資質
4. 真実の成功習慣を見極め実行する資質

これら4つの資質を手に入れ、確実な進化と成功を手に入れてください。

▶ [製品の詳細はこちら](#)